

2019

大阪維新の会

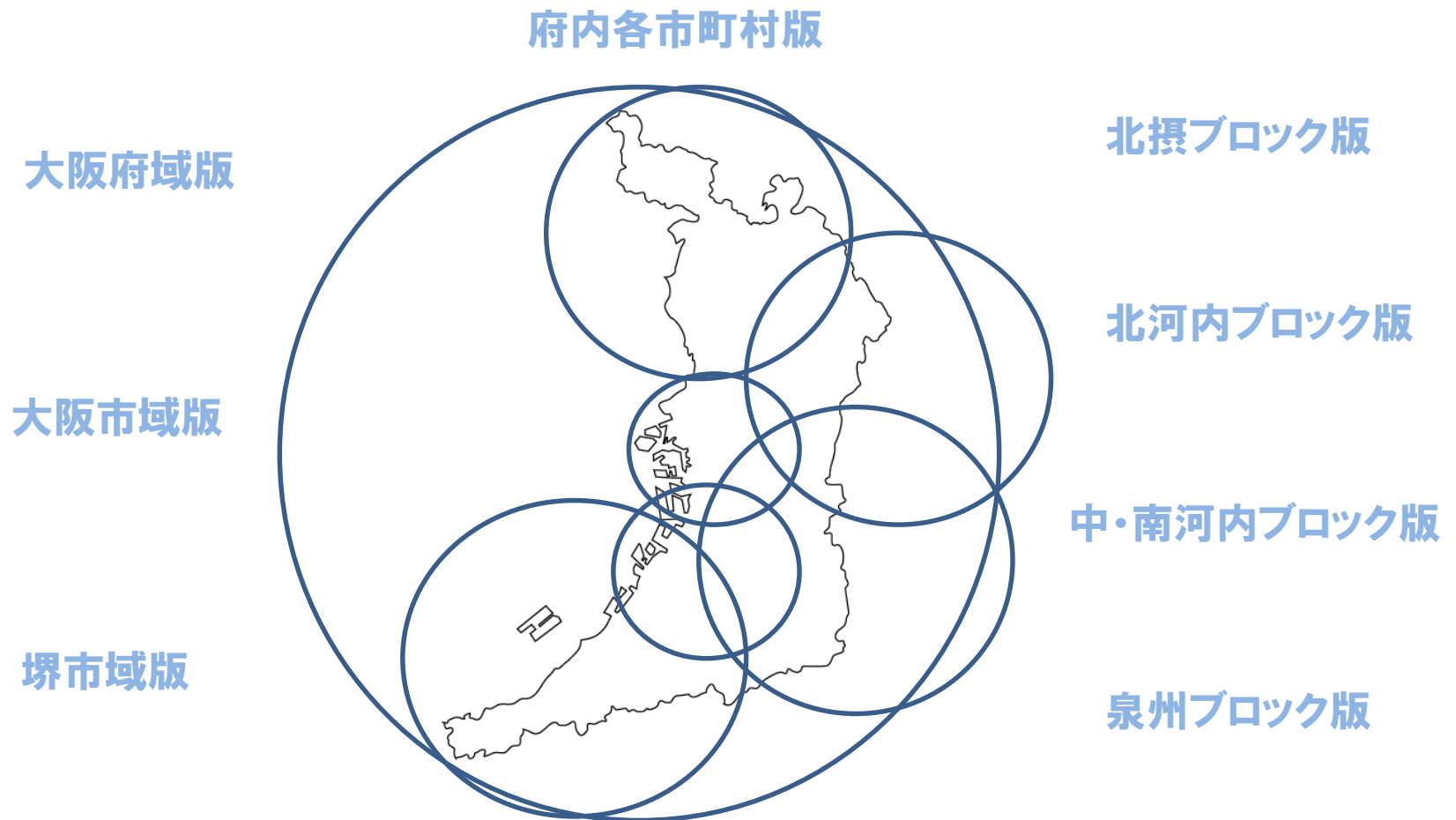
田尻町マニフェスト

Manifesto



大阪維新の会 マニフェスト2019

大阪府域全体の広域戦略を進めるとともに、
府内各自治体、及び中広域ブロックから総合的に施策立案を展開していく



項目	具体的施策	現状・課題認識
防災・減災 強固なまちづくり	●避難所の新設整備と避難道路の新設	●最低1週間の生活可能施設がない。災害避難主要道路が狭い。
教育の環境整備 中学校移転	●中学校を調整区域へ移転させ、教育環境を充実させ、都市計画を再考する。	●小・中学校が隣接しているため、運動場が狭く環境整備が必要
教育を受ける機会 の均衡 塾代等バウチャー 制度の新設	●月額1万円（所得制限あり）	●経済的な理由により塾等へ通えない住民の世帯主へ補助する。
社会教育の拡充 図書館の新設	●移転した中学校の空き施設をリノベーションする。	●図書館がない。現在は図書室にて所蔵数が少ない。
南海吉見ノ里駅お よび駅周辺の整備	●現在 基本設計策定中。	●長年の住民の悲願である。設計中により住民目線でチョックをする。
高齢化社会へ優し いまちづくり	●健康寿命を延ばすため、コミュニティ・バスをさらに推進し、運転免許証返納後の交通手段を確保しつつ、バリアフリー化を勧める。	●交通手段が少なく、運転免許証の返納を躊躇する。

項 目	具体的施策	現状・課題認識
くらしの充実 町全職員の地域担当制を導入 町余剰金の活用を検討する住民会議の創設	●全職員の地域担当制を導入し、担当住民が抱える様々な課題や要望を解決の方向へサポートし、住民福祉のサービス向上を推進し、人事評価（相対評価）への主たる基準とする。 ●標準的な公共施設の適正管理策しかなく、住民の意向が反映されているものではなく、机上の空論である。60億円の余剰金や毎年8億円の黒字財政を繰り返し、職員組織の永久的な温存しか考えていないため、住民が主体の住民会議を創設し、決定していく。	●住民の要望が職員へ届かない。 ●余剰金の有効活用する施策がない。